

BCP(自然災害)と防災訓練



法人内の総合訓練として年、4回。火災、土砂災害、地震の想定訓練を防災委員会で企画し、令和5年度最後の訓練として、3月13日に火災想定避難訓練に合わせて、消火器訓練を実施しました。

災害が発生した場合、建物設備の損壊、人手不足などにより、利用者様へのサービス提供が困難になることは、生活、健康、生命の支障につながっていきます。令和6年度4月よりBCP(自然災害時の業務継続計画)の策定が義務化となり、千鳥福祉会も昨年度、計画を作成しました。

研修、訓練を定期的に各事業所、法人全体で実施していき、災害発生時の対応が出来る限りスムーズに行くよう取り組んでいきたいと思ひます。(防災委員会・松浦)

全体フォーラム報告

3月下旬、令和5年度の締め括りとなる、後期全体フォーラムを行いました。令和6年度の事業計画や、今春からの報酬改定、法人の各規程の改定についての説明。そして永年勤続表彰、新規職員紹介など。かなりボリュームのある内容で、少し休憩を挟みつつ、約2時間半の会を終えました。

情勢の変化に対し柔軟に対応できるよう、一人ひとりのチカラを底上げしつつ、改めて法人一丸となって利用者支援に臨みたいと思ひます。

令和6年度も、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。(総務・植尾)



苦情や要望の受付・解決への取り組み報告 (令和5年12月～令和6年4月)

下記内容にて、申し出を受け、解決に向け、取り組みや話し合いを行いました。

●ばすてるびいす(保護者から)

他利用児童から、我が子が頬を叩かれることがあった。事業所には改善策を、相手方保護者からは謝罪を求めたい。

今後も真摯に対応していきたいと思ひますので、お気軽にお申し付け下さい。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員
 京 俊輔 氏 (島根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
 武子 愛 氏 (島根大学人間科学部 講師) TEL0852-32-9053
 島根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913
 松江市障がい者福祉課 TEL0852-55-5304

利用者みなさんの「声」受け付け報告 (令和5年12月～令和6年4月)

当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと思ひています。

各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じたいと思ひています。

| | 利用者みなさまより | ご家族みなさまより (世話人含む) |
|---------|-----------|-------------------|
| 持田寮 | 62 | 5 |
| ういんぐ | 71 | 6 |
| フレンド | 46 | 0 |
| ばすてる | 11 | 0 |
| ばすてるびいす | 11 | 1 |
| 共同生活 | 31 | 0 |
| 大空 | 27 | 0 |

「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報をご覧いただけます。



「Facebook」
 法人のFacebookページを情報発信委員会にて運営しております。
 <https://www.facebook.com/chidorifukushikai1415/>
 事業所での日々の様子を、SNSでより身近にお伝えできるよう頑張りますので、よろしくお願い致します!(フォローやリアクション頂けると大変喜びます!)



「マチコミ」にご登録の皆様へ
 職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。
 アプリのダウンロードはこちらから。
 (※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索) 詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。

千鳥福祉会ホームページ
 URL <http://www.tidori.org/>
 E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

Leaving Care News

2024.6.1 No.148



〒690-0814 松江市東持田町1415
 社会福祉法人 千鳥福祉会
 TEL 0852-24-8821 (代) FAX 0852-24-8825
 障がい者支援施設 持田寮
 多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
 ワークセンターフレンド
 共同生活援助事業所つばきの里
 居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
 相談支援事業所 ひまわり
 放課後等デイサービスばすてるびいす
 URL <http://www.tidori.org/>
 E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

より良く
 生きること



支え合うコミュニティ 千鳥福祉会 理事長 江指裕嗣

窓越しの新緑の美しさに癒されながらこの原稿に向かっていきます。
 障害福祉サービスは3年に一度の報酬改定を迎えました。事業者としては厳しさの増す経営環境の中、どうしても報酬に気を奪われがちですが、障害者総合支援法施行後の定期的な見直しにより、国は今後の障がい者福祉施策の道筋を示そうとしています。

基本的な方向性の一つに掲げられる「障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり」は、この仕事を始める頃に感銘を受けたノーマライゼーションの理念を今の時代に推進する手立ての数々に思えます。地域の中でのあたりまえの暮らしにこそ、私たちのしあわせは詰まっている、と背中を押される気分です。

地域づくりという点で、当法人が所在する持田地区の活動は活発です。地域資源を活かした「ヒルクライム松江北山」や「松江北山登山駅伝」等のイベント開催は他地区ではなかなか見られない取り組みです。当法人も参加・協力させて頂く中で、それらがどのようにして生み出されているのか、以前から関心がありました。

そんな中、昨年度「第6次持田地区地域福祉計画策定委員会」の一員として、委員会やワークショップに参加させて頂きました。地区社協のスローガンは「心豊かな住みよいまちづくり」。関わる中で気づいたのは、もちろん公民館や地区社協の熱心な取り組みがあってこそですが、地域みなさんの顔の見える付き合い、互いへの思いやりが地域コミュニティをかたちづけているということでした。昔からの村落共同体の流れを汲む相互扶助が根付いている。時代に合ったコミュニティを築けるハブとしての公民館や地区社協。市街地に隣接し、若い世代の流入があることも持続可能な地域づくりの要素なのかも知れません。多くの方が親しみをもって交わる質の高い関係性が、取り組みを生み出す源だと感じました。

こうした心豊かな住みよいまちに障がいがある方々も普通に暮らす。顔が見え、困り感を抱える人のことを理解しようとするところから、支え合うコミュニティづくりが進んで行くのだとしたら、歩みを共にしたいと思ひるのは自然な成り行きだと感じます。

身近なコミュニティから、私たちの「よりよく生きること」を求めようと、思い巡らす春です。

編集/情報発信委員会

- ・江指 裕嗣
- ・吉松 裕介
- ・後藤 ふうこ
- ・高本 舞祈
- ・片寄 みなみ
- ・小村 めぐみ
- ・竹内 朋宏
- ・松崎 純子
- ・植尾 佳代

壁画アートで 心豊かなひととき

L.C.C.ういんぐ介護班では、季節にあった壁画制作を行なっています。春バージョンは菜の花畑を作りました。皆で協力して、絵の具で空を描き、黄色いスタンプでポンポンと叩いて花模様をつけました。また、菜の花畑にそれぞれの似顔絵を描いたシャボン玉を飛ばし、ほっこりあたたかい気持ちになるとも素敵な作品が出来上がりました!

利用者の皆さんや職員が毎日何度も行き来する食堂前の廊下には、こうして季節ごとの彩りを添えています。

次は夏に向けて、また皆さん楽しんで頂けるような作品を制作中です。是非、ういんぐへいらした際は覗いてみてください!

(L.C.C.ういんぐ・後藤)



春を満喫 木次線の旅!

持田寮では4月1~3日、班別で、公用車とJR木次線を利用して木次町の桜土手へ花見に出掛けました。

普段の外出は車がほとんどです。一畑電車と白鳥号には乗った事がありましたので、今年は乗った事がない列車に乗ってもらう事に。JR職員さんの協力のもと汽車に乗り込み短時間でワクワクドキの乗車体験でした。

現地では事前に予約したレストランで好みのメニューを食べられて皆さん満足そうなお様子でした。初めの2班は天候がとても良かったので、食後は満開の桜を見ながら、露店でたい焼きやフルーツ飴等のおやつを買って食べ歩き。残念ながら3日の班は雨天でしたが車中より桜トンネルの下を通ってお花見を堪能され、道の駅木次に寄ってそれぞれ食べたいおやつを選んで買われました。

利用者さん達からは「汽車が楽しかったよ。」「お昼ご飯が美味しかった。」「桜が綺麗だったね。」等のいい感想が聞かれましたので、時間をかけて何度も下見して、打ち合わせをした甲斐があったと嬉しく思いました。(持田寮・松浦)



駅員さんサポート感謝です

加茂中駅にて

桜がきれいでしたね

木次線の旅

フレンドのお花見

今春のフレンドは、ありがたいことに作業が増えた反面、ゆっくり遠出するイベントは先延ばしになってしまいました…。そんな中、花見外出の代わりに、例年よりも長く楽しめた敷地内の桜の下で写真撮影。

すぐそばで見ているだけで、明るい気持ちをもたらされる。桜の花って不思議ですね。

次の楽しいイベントが堪能できるように、引き続きみなでお仕事を頑張りましょう!(ワークセンターフレンド・高本)



L.C.C.ういんぐ 運営推進会議の開催について

この度、4月18日に介護保険事業の地域密着型通所介護事業で「運営推進会議」を開催いたしました。「運営推進会議」とは、地域に開かれたサービスとなるよう、またサービスの質の向上に資するため、利用者、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供サービスの内容などを明らかにする会議のことです。

今回、ういんぐ利用者2名、松江市より1名、地域代表として持田公民館館長西村様に参加頂きました。10月より通所介護事業を開始し、これまでの活動報告を中心に皆様と意見交換させて頂きました。

利用者様は話ができたと喜ばれ、館長様からはういんぐの活動の様子、利用者の方の声が聞けたことが良かったと感想を頂きました。今後とも利用者様(事業所)と地域が繋がり、お互いにとって良い存在になるよう会を開催していきたいと思っております。(ういんぐ・長野)



感染症対策委員会の 取り組みについて

感染症対策委員会では、前年度はBCP(事業継続計画)の作成を含め、各事業所の代表者を加えた拡大委員会の開催やBCPについての研修、ガウンテクニック、吐物処理研修等の実践研修の他、感染症の流行期には感染予防対策の啓発を行ってまいりました。

BCPは、感染症の拡大時にスタッフや利用者の安全を確保し、サービスの中断を最小限に抑えるための計画です。今後はBCPの策定に留まることなく、予防措置や対応策の改善、感染症対応病院との協定等の必要性にも焦点を当て、進めていく必要があります。

定期的な座学やトレーニング、訓練を通じて、スタッフは適切な対応を身につけ、より迅速かつ効果的に、利用者やスタッフの安全を確保し、サービスの継続性を確保できるよう努めて行きたいと思っております。(感染症対策委員会・神田)



春休みも 元気いっぱい!

ぱすてる・ぱすてるびいすの春休みは、好天に恵まれ、特に屋外での活動を楽しめました。あまり遠出はできませんでしたが、近くの公園や、花見ドライブで立ち寄った夢みなとタワーなどでは、思いっきり体を動かしてリフレッシュ。みんなで外出に出かけ、プチ贅沢感を味わう日も、桜の花とともに、児童の皆さんの笑顔も満開に咲いていました。(ぱすてるびいす・松崎)

